

# 105 カワセミ

(ブッポウソウ目)

兵庫県ランク:要注目

*Alcedo atthis*

繁殖個体群:注 越冬個体群:注 通過個体群:調

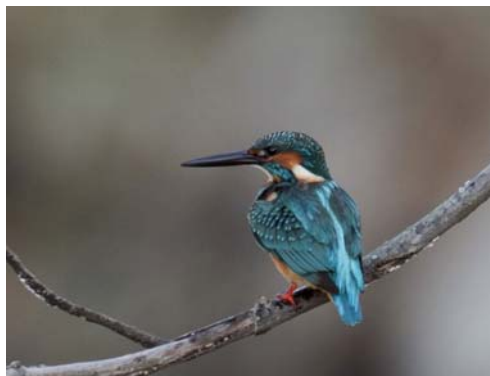
環境省ランク:指定なし

## 種の概要

北海道、本州、四国、沖縄では留鳥。兵庫県でも周年見られる。清流を代表する鳥で、平地から山地の湖沼、河川、水路などに生息し、土手や崖などに穴を掘って営巣する。主に小魚類や水生昆虫類、カエル類、エビ類などを捕食する。一時期、強力な農薬の使用や工場排水、生活排水などによる河川の水質汚濁により、全国的に個体数が激減したが、最近はかなり回復している。

## 国内分布

北海道、南千島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、男女群島、屋久島、種子島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供:松重和太

## 県内分布 ( )表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、(相生市)、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、(篠山市)、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、稲美町、(福崎町)、(神河町)、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町 ※県内繁殖有



## 主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

## 県内における生息状況およびその他特記事項

Bランクから要注目に変更。  
1950年頃までは県内各地で普通に見られたが、その後急減した。近年、河川の浄化や水辺環境の回復を図る努力がなされてきたため、現在ではほぼかつての分布に近い状況にまで回復しつつある。また、本種は良好な水辺環境の指標種としても有効であることから、要注目に変更した。



写真提供:但馬野鳥の会

## 保護上の留意点

県内の広い範囲で、本種の生息状況が回復しつつあるが、河川や池沼の水際、水路に餌となる小魚類や水生昆虫類が生息できる環境を作り出すことが必要。また、土手や崖など土が露出したところに穴を掘って営巣するため、コンクリート護岸は営巣の支障となっている。本種の保護のためには、土を露出させた場所や営巣用土管設置など、人為的に営巣場所を創出することも極めて重要。